

第242回原医研セミナー

第7回放射線災害・医科学研究 機構・拠点研究推進ミーティング

下記のとおり開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

記

開催日時：2023年3月28日（火）17時30分～

開催方法：オンライン

接続先：Zoom(ミーティング)ID：852 4293 1236

Zoom URL：

<https://us06web.zoom.us/j/85242931236?pwd=L2ZvcXVudUJ2dzJqUTBIR3ozNlJwZz09>

Zoom パスワード：939242（上記 URL をクリックして参加する場合は入力不要です）

演題：新規経口 DNA メチル化阻害薬を使用した造血器腫瘍をターゲットとした治療戦略の開発

**講師：広島大学 原爆放射線医科学研究所 次世代ゲノム細胞創薬共同研究講座
共同研究講座准教授 嬉野博志 先生**

我々は、新規経口 DNA メチル化阻害剤 OR2100 の開発を進めている。現在、臨床第 1 相試験を国内 6 施設において行なっている。異常な DNA メチル化亢進は様々な造血器腫瘍の発癌・進行・治療抵抗性に関与しており、この解除こそがこれらの疾患の治療につながることを見出した。さらには OR2100 と既存の薬剤を併用することで強い併用効果を認めることも分かってきた。今回、OR2100 を用いた骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病、成人 T 細胞白血病及び多発性骨髄腫のモデルにおける前臨床試験の結果について概説をする。

演題：小型肺癌に対する縮小手術の標準化

**講師：広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究部門
腫瘍外科研究分野 准教授 宮田義浩 先生**

最近の高分解能 CT の進歩により小型肺癌、また従来 of 肺癌に比較して悪性度の低い肺癌が多く発見されるようになり、切除の標準術式である肺葉切除からの切除範囲縮小の必要性が増している。我々は以前より縮小手術である区域切除の腫瘍学的同等性、肺機能温存における優位性を報告しており、JCOG0802 試験として全体腫瘍径 2 cm 以下で充実成分主体肺癌について、肺葉切除と区域切除をランダム化比較する大規模試験を計画し、その結果が昨年発表された。プライマリーエンドポイントの全生存期間では、HR0.663 (P=0.0082) で区域切除の肺葉切除に対しての優越性が示された (*Lancet*. 2022;399:1607-1617)。この結果により小型肺癌に対しては 60 年近く標準治療であった肺葉切除にかわり区域切除が標準となることとなり大きなインパクトがもたらされた。